

対策部は今年度の活動を振り返り、次年度に向けて計画を立てているところである。その中から、次年度に向けて計画していることについて2点報告させていただく。

1点目は、令和5年度「全道会長研修会」の共通話題について。お手元の文書「令和5年度 全道会長研修会の話題集約について」をご覧いただきたい。この研修会は、様々な教育課題が山積している中、各地区の課題を交流し、その解決に向けて話し合うことを目的として行われている。ここで話し合われる共通話題については、全道各地区の意見を伺いながら設定を行っていく。

共通話題の集約は、本日の資料の中に「返答いただく内容」という文書があるので、その様式に従い、協議したい話題を1～3項目記入し、令和5年1月27日（金）までに 対策部 児島副部長 までメールで返答いただきたい。なお、この様式については、近日中に道小ホームページに掲載するので、活用いただきたい。来年度の会長研修会は、6月9日（金）に Web 開催で行う予定である。共通話題については、次年度の対策部が各地区の集計を基に原案を考え、事務局において最終的に決定させていただく。

2点目は、全道調査について。この調査については、様々に変化する教育情勢を見据えながら、新たな調査も範疇に入れて検討をしてきた。令和5年度は、令和4年度と同様に「広域人事に関する調査」「退職校長動向等調査」「期限付教諭配置状況調査」の三つを継続して実施する。

「広域人事に関する調査」は、これまでに課題だった部分のその後の経緯等を追うことで、実際に広域人事を経た方々が、その後戻られてどう貢献しているかを更に実証的に検証していきたい。「退職校長動向等調査」では、再任用・再就職を含め、その動向等を更に経年変化として調査していきたいと考えている。「期限付教諭配置状況調査」は、4月段階における全道各地の配置・未配置の現状を明らかにし、状況の改善につなげていくことを目的としている。

今後も全道会長研修会の共通話題の集約をはじめ、全道調査などにおいて、協力をお願いしたい。